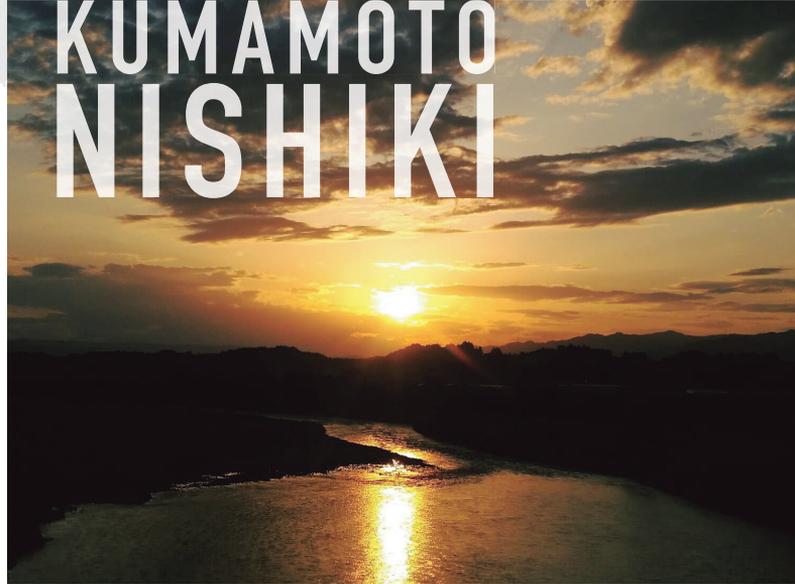


熊本県



錦町

KUMAMOTO  
NISHIKI



面積: 8,493 km<sup>2</sup>

人口: 10,279人(令和4年8月現在)

町の木: カシ / 町の花: ツクシイバラ

## ピースツーリズム



昭和19年2月に「人吉海軍航空隊」が開隊。コンクリート製滑走路の飛行場は、海軍飛行予科練習生の教育場所でしたが、戦争激化に伴い、神風特別攻撃隊の疎開訓練が行われます。アメリカ軍の上陸に備えた地下施設も多数建設。総延長4kmの地下施設が現存します。

## ブルーツーリズム



「日本三大急流」の球磨川では、穏やかな流れの「球磨川下り」と激しい流れの「ラフティング」の2つのアクティビティを体験することができます※。また、球磨川・川辺川では30cmを超える「尺鮎」を求め全国から釣り人が集まります。

※発着場所は錦町ではなく、人吉市、球磨村になります。

## 【町の概要】

熊本県の南部、宮崎県に隣接する錦町は、東西約30 km、南北約15kmの「人吉盆地」の中央に位置します。町の面積の約半分を山林が占め、町の中央を「日本三大急流」の球磨川が流れ、西端には16年連続「清流日本一」の川辺川が流れ込みます。

「剣豪とフルーツの里」として知られ、戦国時代まるめくらんどのすけに活躍した剣豪「丸目蔵人佐」が晩年を過ごした土地で、寒暖差の大きな盆地特有の気候は桃や梨をはじめ多様な農産物が収穫できます。また、鎌倉時代から明治維新にかけて、約700年間にわたり当地を治めた相良氏さくらのストーリーは「相良700年が生んだ保守と進取の文化～日本で最も豊かな隠れ里－人吉球磨～」として、文化財や風習そして自然が「日本遺産」に認定されました。

このように、自然と歴史溢れる町が錦町です。

## 【 熊本県 錦町 】



### 木本神宮・岩城址

岩城址は中世山城で相良氏統治前は平川氏、相良氏統治後は窪田氏の居城でした。岩城址の最も高い場所に建設された木本神宮は、人吉球磨地域の神社建築の特徴をよく現し、覆い屋の中にある本殿は室町時代に建立された町内で最も古い神社のひとつです。なお、岩城址の東側崖面には、人吉海軍航空基地の地下施設である自動車修理工場があります。



### 錦にしき道の駅錦(錦・くらんど公園)

錦町に縁のある剣豪丸目蔵人佐の名前を冠した「錦・くらんど公園」は、地域最大級の敷地面積を誇り、多様な遊具や、多目的に使用できる広場があります。また、公園には季節のフルーツをはじめ地域で収穫された新鮮な野菜など物産品を販売する「くらんど市」と、多くのドライバーの憩いとなっている「道の駅錦」が併設しています。



### 一武八幡宮

昭和30年、一武村、西村、木上村が合併して発足した錦町には旧三村にそれぞれ村社が祀られていました。旧一武村の村社が一武八幡宮です。村社らしく堂々とした佇まいで、雅楽殿と共用になっている神供所では、国指定無形民俗文化財である「球磨神楽」が奉納されます。また、昨今では有名アニメの聖地巡礼場所としてファンが訪れます。



### ツクシイバラ群生地

九州を意味する「筑紫(つくし)」を冠する野イバラである「ツクシイバラ」は錦町の町花です。球磨川河川敷に5月中旬から6月上旬にかけて、花言葉の「かわらない愛情」を表すハート型の花弁を持った淡いピンクや濃いピンクの花が咲き誇り、群生地は芳醇な香りに包まれます。